

1 地域ブロック別情報共有会

(1) 目的

高松市が実施する共助の基盤づくり事業において、地域の活動・進捗状況、または疑問点や課題点など、今後の活動実施に向けた具体的かつ有益な意見交換・情報共有を行うことにより、本事業における推進を図ることを目的に開催。

(2) 開催日時・場所

	圏域	日時	場所
①	香川	令和5年8月1日（火） 10：00～11：30	香川総合センター
②	仏生山	令和5年8月1日（火） 13：30～15：00	仏生山総合センター
③	国分寺	令和5年8月2日（水） 10：00～11：30	国分寺会館
④	勝賀	令和5年8月2日（水） 13：30～15：00	勝賀総合センター
⑤	牟礼	令和5年8月4日（金） 10：00～11：30	牟礼総合センター
⑥	本庁	令和5年8月4日（金） 13：30～15：00	高松市社会福祉協議会
⑦	山田	令和5年8月7日（月） 13：30～15：00	山田総合センター

(3) 開催内容

- ①高松市共助の基盤づくり事業における状況報告
- ②地区社協助成事業について
- ③グループワーク（情報共有）



(香川圏域)



(山田圏域)

(4) 参加（地区・者）数

	総合センター圏域	実参加地区数／該当地区数	参加者数
①	香川	5 / 5	7
②	仏生山	6 / 8	9
③	国分寺	5 / 5	9
④	勝賀	4 / 4	8
⑤	牟礼	4 / 4	6
⑥	本庁	11 / 12	19
⑦	山田	6 / 6	10
	合計	41 / 44	68

圏域毎の情報共有会としたことで、より身近な地区（圏域）での情報交換・意見交換が活発に行われ、事業の内容や方法などへの理解の向上となり、本事業の推進を図る取組となった。

2 地域福祉フォーラム

(1) 目的

「減災」をテーマに、地域・人の繋がり（共助の基盤）の重要性を再認識、または考える機会としていただくことを目的に開催。

(2) 開催日時・場所

令和6年2月26日（月）13時30分～15時30分

サンメッセ香川 2階サンメッセホール（高松市林町2217-1）

(3) 開催形式

基調講演 パネルディスカッション

(4) 登壇者

【基調講演】 国立大学法人 香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 副機構長
地域強靱化研究センター長 特任教授 金田 義行 氏

【パネリスト】 ○倉敷市社会福祉協議会 事務局次長（兼）地域福祉課長 佐賀 雅宏 氏

○庵治地区自主防災連合会 会長 白井 一美 氏

○高松市社会福祉協議会 地域福祉課長 中條 恵助 氏

(5) 参加者数

140名（地区社協、地区民児協、香川大学生、各関係機関等）



(6) 内 容

基調講演

「南海トラフ巨大地震をイメージして備える～能登半島地震の教訓を活かすことが不可欠～」

基調講演では、香川大学の金田先生をお招きし、減災をテーマとした「地域（人）づくり」について講演を行った。地域における「共助」の必要性や重要性を、減災の観点から再認識していただき、本事業への理解の推進を図ることができる講演となった。



パネルディスカッション

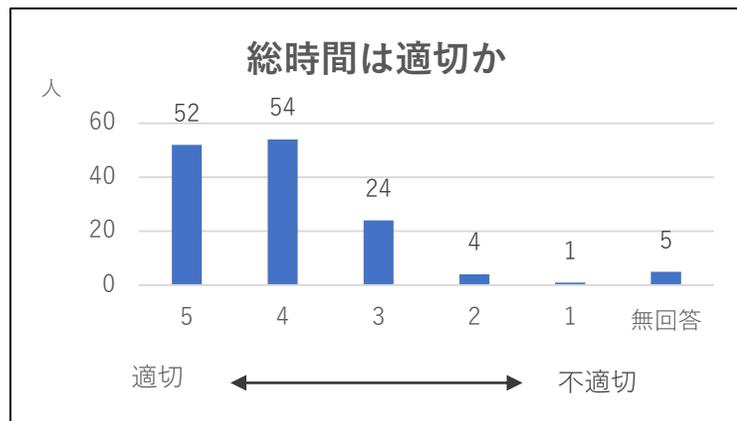
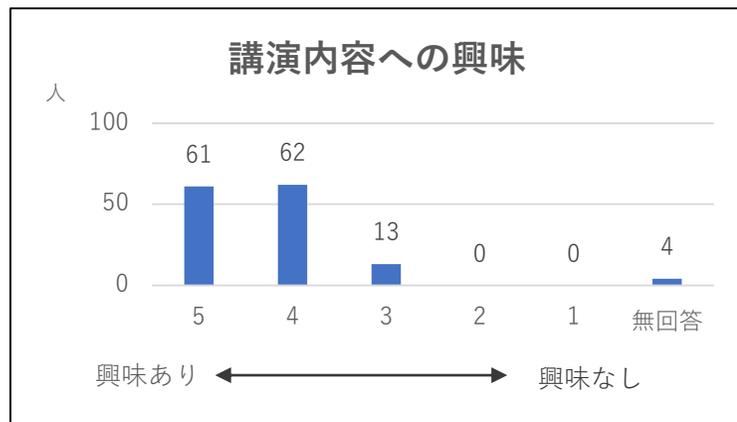
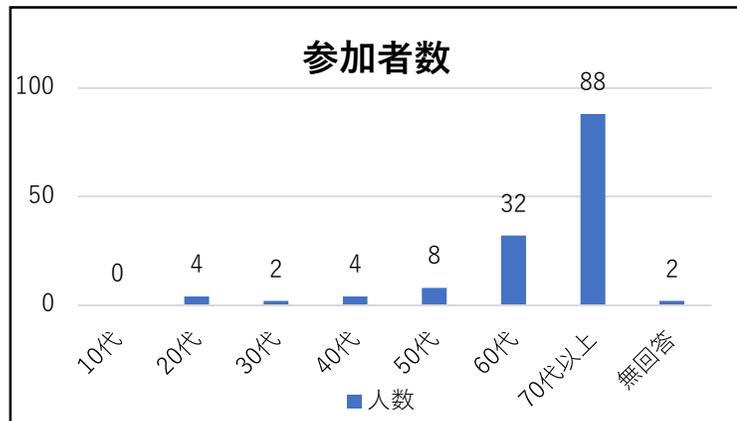
（倉敷市社会福祉協議会、庵治地区自主防災連合会、高松市社会福祉協議会）



パネルディスカッションにおいて、倉敷市社協からは西日本豪雨で被災した経験から人との繋がりについて、庵治地区からは防災の視点で本事業を活用して地域住民に対し周知啓発を行っている活動、高松市社協からは災害ボランティアセンターの視点から等、それぞれが、活動の視点から「共助」の重要性に関する話題提供を行った。

能登半島地震や南海トラフ巨大地震など災害への関心が高まる中、「災害」に関することは決して他人事ではなく、御参加いただいた地域の方も熱心に聴講されていた。災害を通じた繋がり（共助）の重要性や日々の地域福祉活動の意義についても再認識を図ることができた。

(7) アンケート (回答数: 140名)



【ご意見・ご感想など】 (総数88件の内、一部抜粋)

- ・ 地区では近所づきあいが疎遠になりがちであり、今回の講演を聞き、地区内のつながりが重要であることを強く感じた。
 - ・ ディスカッションでは、自助・共助の大切さを改めて感じた。自助・共助の心が育てば、地域の愛着につながり、さらに自助・共助ができる地域につながっていくと感じた。
 - ・ 災害時だけではなく、平時から地域とのつながり作りの大切さについて改めて認識した。
 - ・ 地域の弱者をどうするかなど、地域で話し合うことが大切だと思った。防災訓練だけでなく、防災教室の実施も必要かなと考える。
 - ・ 地域づくり = 人との繋がり。「昨日」と同じ「今日」があるのは奇跡。
 - ・ 詳しく知りたいので、もっと時間が必要ではないか。
 - ・ とても良い話が聞けたが、具体的な防災・発災後の行動指針が聞ければと思った。防災意識を高めるための具体例を聞きたかった。楽しく学ぶは共感できる。
- ・・・など